

看護と癒し	2年・前期	1単位	講師 宮澤 由佳
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121162

1. 授業のねらい・概要

看護援助をより豊かなものにしていくための可能性を探究し、人々を癒し、回復を促進し、QOLの向上に資する援助を創造的に学ぶ。

現在、広く看護に活用されている代替療法の理解を深め、患者の苦痛軽減や癒しの能力を高める。

2. 学修の到達目標

1. 看護援助における癒しの必要性を理解することができる。
2. 代替療法の種類と方法を知ることができる。
3. 代替療法を体験し、癒しについて考察することができる。

3. 授業の進め方

講義・演習

4. 授業計画（演習）

1. 看護における代替療法、癒しとは	5. グループワーク
2. グループワーク	6. 演習
3. グループワーク	7. 演習
4. グループワーク	8. まとめ

5. 成績評価の方法・基準

2/3以上出席していること。

グループワーク 30%，レポート 70%を総合して評価する。

6. テキスト・参考文献

講義中に資料を配布する。参考文献は講義内で紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

代替療法、癒しに関する文献を読み、グループワーク課題を仕上げる。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的に授業に参加すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか試験実施後解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。